



# 立科町 議会だより

## 目次

- 特集（議会へのアンケートNo.2） … p2～5
- 議案審議報告 …… p6～8
- 予算特別委員会 …… p9～11
- 常任委員会報告 …… p12～13
- 一般質問 …… p14～17
- 議会の動き／編集後記 …… p18



# 令和2年度 立科町議会アンケートへのご意見等【その2】を掲載します！



立科町議会では、隔年で「町民と語る会」を開催し、町民との意見交換等を行っています。コロナ禍により開催を見合わせ、令和2年8月に、町内の各種団体代表者82人の方から「議会アンケート」へご意見、ご要望等をお寄せいただきました。

町行政に関わるものについては、令和2年9月30日、議会から町長へ報告・提出を行い、答申も受けるなど町民の声を町政に反映しました。

アンケートの結果等は、昨年10月発行の議会だより第164号に掲載しました。

町議会に関わるものについては、令和2年10月から令和3年3月にかけて議員間で話し合いを重ねました。その結果を今回のおとり取りまとめましたので、【その2】として掲載いたします。

議会ホームページ  
QRコード



## 議員定数 2

- 議員定数12人は多すぎる。
- 議員定数を削減し、報酬増を図ってはどうか。

- 平成19年に、議員定数を16人から12人へ減らしている。
- 議員は、町議会以外の一部事務組合等の職務も兼ねており、定数減は難しい。



議会は、町行政の政策を決定するとともに、町行政運営のチェック機能を担っています。また、町議会以外の一部事務組合等の職務も兼ねており、議員定数12人は妥当ではないかと考えますが、今後議員間で議論をしてまいります。

各議員意見

## 議員活動 3

- 議員活動をあまり知らない。
- 議員と町民の接点が見当たらない。
- 議員と町民の間に距離感を感じる。

- 議員活動が、町全体にまで至っていないのではないか。
- 町民や各種団体との懇談の場を広げ、町民の声を聞く必要がある。
- 各地区の区長や部落長等の活躍により、議員活動が目立たない面もある。



議員活動を今まで以上に広げることが重要と考えています。今回実施した「議会アンケート」もその一環であり、今後も町民や各種団体との懇談の場を設けていきたいと考えています。

各議員意見

## 一般質問 4

- 町行政にもっと突っ込んだ一般質問をしてほしい。
- 町行政の答弁がはっきりするまで質問をしてほしい。
- 一般質問の質向上を図ってほしい。

- 町行政から具体的でわかりやすい答弁を得られるよう心掛けたい。
- 町民にわかりやすい簡潔明瞭な質問表現に努めたい。
- 町民に質問の中身を知ってもらうため、あえて質問していることもある。
- 研修会等に参加し、一般質問の質向上に努めたい。



一般質問は、議会定例会において、議員が町行政の施策の状況や方針等について報告や説明を求めるとともに、町行財政全般にわたり政策議論する場です。町の発展繁栄に資する一般質問に努めています。

各議員意見

## 議員報酬 1

- 議員報酬が高すぎる。
- 議員報酬が低く、副業しないと議員ができないのでは。
- 自己啓発し議員報酬に見合う活動や活躍をして欲しい。
- 議員報酬を生活費に充てるのではなく活動費に充てるべき。

- 若い世代に議員になってもらうためには、一律ではなく、年齢により議員報酬を変えてもよいのではないか。他自治体議会では、そのような取り組みも始まっている。



町民意見を反映するためには、年齢・性別・経験など、幅広い議会構成が望ましいと考えます。議員のなり手不足や立科町の財政力と併せて、回を重ねて議論を深めていきます。

各議員意見



議会運営委員会

議会運営委員会の委員は4人で構成され、議会の運営に係る様々な事項を担当しています。

今回の「議会アンケート」では、アンケート項目の調整及び決定、アンケート用紙の作成、アンケート結果の取りまとめ、議員意見の集約等を担当しました。

これからも円滑で実り多き議会運営を目指し、様々な事項に取り組んでまいります。

## 議会活動の周知 8



- ケーブルテレビをもっと活用し、議会の日程や活動（委員会）報告をしてほしい。

- ・ 議会活動のケーブルテレビによる広報が必要ではないか。
- ・ 議会活動について、新聞社等への公開範囲を広げてはどうか。
- ・ 議会活動は町民を思い粛々とするもので、宣伝するものではない。

各議員意見



年4回発行する「議会だより」で議会活動をお知らせしています。また、ケーブルテレビで一般質問等の生中継や録画放送を行っています。議会活動の更なる周知方法について話し合いを行っています。

## 災害対応 9



- 災害の被災状況の正確な確認をしてほしい。
- 町民の声を聞く中で、防災に努めてほしい。

- ・ 議員も災害状況を把握する必要がある。
- ・ 議員が災害情報をもっと町行政へ繋げてはどうか。
- ・ 災害時の議会行動マニュアルを作成してはどうか。

各議員意見



災害対応は、町行政が当たりますが、他自治体議会の災害時の取り組みを参考に、議会としての対応を考えています。

多くの方から多岐にわたるご意見、ご要望等をお寄せいただきました。その大変貴重な声を9つの分野に集約し、約半年をかけて、議員間で話し合いを重ね、「令和2年度のみとめ」としてご報告させていただきました。

今後も話し合いを重ね、議会活動・運営に活かしてまいりますので、引続き町民の皆様から率直なご意見等をよろしくお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

## 人口減少対策 5



- 町の人口減少による限界集落の将来について検討してほしい。

- ・ 町の人口減少問題への認識は、議員間で共有している。

各議員意見



町行政に対して、人口減少への対策、子育て支援策等を政策提案しています。

## 町づくり 6



- 町の資源や資金を有効活用し、町づくりを進めてほしい。また、スピードを持って決断・実行してほしい。
- 将来にわたり自立可能な財政基盤の確立を第一に考えた町づくりを目指してほしい。

- ・ 町民の町づくりへの意識が高いので、議員として成果を出せるよう努めたい。
- ・ 財政規模縮小を視野に入れて、町民の生命、健康、財産等を守る町づくりのため、町行政のチェック役として働きたい。
- ・ 町づくりについて、より一層政策提言に努めたい。

各議員意見



「町づくり」は、町の第5次振興計画や総合戦略等に沿って進められていますので、その検証と行財政運営のチェックに努めています。

## 観光振興 7



- 観光振興を進めてほしい。
- スキー場を指定管理者制度（公設民営）へ移行したが、一般財源（町税や地方交付税等）の支出増額となるのではないか。

- ・ 観光振興に政策提言していきたい。
- ・ 観光振興のため、今後とも観光協会や観光業者等との話し合いに努めたい。
- ・ スキー場の指定管理者制度を注視していきたい。

各議員意見



蓼科山、牧場、自然園、女神湖、白樺湖等をはじめ、高山植物の宝庫でもある観光地の魅力アップに努めています。スキー場は、町の施設なので、町と指定管理者との関係や一般財源の支出等について、町行政に報告や説明を求めています。

# 令和3年 第1回例会

令和3年第1回例会を3月3日から3月18日までの16日間の会期で開き、条例制定・改正や補正予算及び新年度予算などについて審議し、原案のとおり可決した。



## 条例の制定・改正

- ◇立科町附属機関設置条例  
**可決** 地方自治法の規定に基づき、附属機関に該当する各種委員会等を設置するもの。
- ◇附属機関の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例  
**可決** 附属機関の見直しにより、条例を一部改正及び廃止するもの。
- ◇立科町課等設置条例等の一部を改正する条例  
**可決** 「農林課」及び「観光課」を、「産業振興課」に組織変更するもの。
- ◇立科町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
**可決** 新型コロナウイルス感染症に係る国の法律及び特措法の改正により、改正するもの。

## 令和2年度 補正予算

- ◇立科町介護保険条例の一部を改正する条例  
**可決** 「第8期高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」の策定等により、保険料を改定するもの。  
賛成多数で可決した。
- ◇立科町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例（ほか2関係条例の一部を改正する条例）  
**可決** 省令改正に伴い、介護サービスに係る人員、設備、運営等の基準を改正するもの。
- ◇立科町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について  
**可決** 省令改正に伴い、介護サービスに係る利用者説明や対応等を図るため、改正するもの。  
賛成多数で可決した。
- ◇一般会計補正予算（第9号）  
**可決** 3174万円を減額し、総額57億8514万円とするもの。  
歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響による入湯税、権現の湯使用料等の減額が主なもの。  
歳出では、事業実績による減額が主なもので、減額は基金積立とするもの。
- ◇一般会計補正予算（第10号）  
**可決** 1490万円を追加し、総額58億4万円とするもの。  
歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった国の交付金等の補填のため、減収補填債を借入れるもの。  
歳出では、令和元年台風19号豪雨災害に係る町債返済が主なもの。

- ◇特別会計・企業会計補正予算8件  
**可決** 特別会計・企業会計の補正予算は、いずれも事業実績によるもの。
- ◇水道料金の不納欠損に係る請求権の権利放棄  
**可決** 海外転出及び町有地賃借契約の解除により、債権の請求権を放棄するもの。
- ◇高度無線環境整備、白樺高原観光施設トイレ整備及び白樺湖遊歩道整備を辺地計画に追加するもの。  
**可決** 高度無線環境整備、白樺高原観光施設トイレ整備及び白樺湖遊歩道整備を辺地計画に追加するもの。

## 同意

- ◇立科町固定資産評価審査委員会委員選任  
立野 裕紀氏（再任）
- ◇人権擁護委員の推薦  
笹井 隆氏（再任）

## 陳情

8ページ中段に記載のとおり。

## その他

- ◇佐久広域連合規約の変更について  
佐久広域連合規約の事務処理規定から、「血液保管事業」及び「と畜事業」を除くことに伴い、規約を変更するもの。  
賛成多数で可決した。

## 第1回臨時会

令和3年2月9日、臨時会が開かれ、一般会計補正予算（第8号）及び指定管理者の指定を原案のとおり可決した。

## 新年度予算

- ◇令和3年度予算（9会計）を原案のとおり可決した。  
令和3年度から、下水道事業会計が公営企業法の適用事業へ移行となり、下水道事業の特別会計が統合され、1会計減となった。また、索道事業特別会計は、指定管理者制度導入に伴い、公営企業法の非適用事業へ移行となった。

## 討論

- ◇反対  
村田 桂子  
・議案第4号佐久広域連合規約の変更について  
この議案は、広域連合の事務から「と畜場施設の設置及び管理に関する事務」を削除するものであり反対する。  
広域連合は、処理頭数減による赤字が嵩むことを理由に突然、昨年7月「新たな経営体が見つからなければ廃止」を打ち出した。

それまでも赤字が続いていたが、生産者や関係者に抜本的な打開策を求めることもなく、いわば赤字が出るに任せる経営を放置してきた。関係者の必死の努力も新たなハードル設定で水泡に帰した。佐久の立場が閉鎖になれば、生産者はコスト増・リスク増にさらされ「蓼科牛」の存続が危ぶまれる。支援の具体化がまだ見えず、廃止は時期尚早である。

## 賛成

- ◇芝間 教男  
・陳情第1号川西赤十字病院の充実と存続を求める陳情書  
佐久地域では、急性期治療など高度な治療は佐久医療センターで行い、回復期・慢性期は川西赤十字病院など地域の病院に転院。更に落ち着いた地域完結型医療モデルの取組ができています。ところが一昨年厚生労働省は「公立・公的病院の再編統合」の再検証と称し、川西赤十字病院も含め全国440病院について統合すると公表した。その基準は、地域の取組や実情を考慮しないで公表したものである。川西地域において、入院し治療できる施設は川西赤十字病院以外にはなく、ぜひ必要である。また、現在の川西赤十字病院は改築の時期が迫っており、地域医療の安定的な継続充実のため、病棟改築についても前向きな財政支援もお願いする。

## 原案に賛成

- ◇今井 英昭  
課等設置条例の一部改正は、行政改革の一環として更なる行政の計画的・効率的・効果的な運営が期待でき賛成する。介護保険条例の一部改正は、実績と今後の見込みにより増額との説明を受けた。今後も増加傾向にあり、それを抑制する事業展開を期待する。  
令和3年度の各会計予算は、重点指針の「環境にやさしいまちづくり」に関する事業説明があり、環境を中心としたまちづくりの期待ができ賛成する。  
陳情「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情書」については、労働者側と雇用側両面での意見書となっており、多くの町民に影響があるため賛成する。

## 賛成

- ◇村田 桂子  
・議案第23号令和3年度立科町一般会計予算について  
令和3年度予算は、コロナによる収収不足1億円を、交付金・臨時財政対策債という借金、財政調整基金繰り入れなどで補填し、前年比1億3千万円増の規模。  
4月よりコロナのワクチン接種が行われる。また学習の遅れや消費などの業務増大に対応し、令和2年度は5名の職員増があつたが令和3年度も県費1名に加え中学校の学校補助員1名を町負担で対応。  
ごみ減量化のために、蓼科区にごみ集積庫と生ごみ処理機を導入。保育園にも設置。学校の給食残渣も消滅型処理機で処理予定。必要な事務は盛り込む予算となった。  
しかし、佐久食肉センター解体費1400万円が盛り込まれた。今後の「蓼科牛」が心配だが、支援策を期待して賛成する。





# 予算特別委員会

3月12日・15日の2日間、予算特別委員会を開催し、令和3年度予算(9会計)の審査を行った。

**●歳入**  
**問** 新型コロナウイルス感染症の影響で町税が落ち込んでいるが、その状況と対応は。  
**答** 新型コロナウイルス感染症の影響で町税は10・9%落ち込む見込みである。町税の減収分は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金4千万円、地方交付税6千万円、有利な町債等による収入で対応を見込んでいる。

**問** 固定資産税が落ち込んでいる理由は。  
**答** 中小企業の徴収猶予の影響等が主要因である。状況を踏まえ、4千万円の減収を見込んでいる。

**問** 入湯税の減収の理由は。  
**答** 新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は、前年度と比較して大幅減の39%の収入見込みであり、それを踏まえ、1600万円の減

**●歳出**  
**問** 給与ASP使用料の概要は。  
**答** 正規職員の給与、会計年度任用職員の報酬等を自動計算するシステムを導入するための使用料である。

**問** 自治体強化機器リース料の概要は。  
**答** 自治体強化機器、LGN(総合行政ネットワーク)、中間サーバBS機器が導入から5年経過し、保守期限を迎えるため、リース(更新)するものである。

**問** 公共施設等総合管理計画修正業務の概要は。  
**答** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画が5年経過したため、見直しを行うものである。

**問** 基金積立金の増額の理由は。

**答** 基金の債券等運用に組み込むことにより、その収益が見込まれ、基金積立金を増額するものである。

**問** 統合型地理空間情報システムの活用方法は。  
**答** 平成28年度に航空写真撮影し、課税等に活用してきたが、5年経過したため、再度、航空写真を撮影し、GISデータとして活用する。総務課以外の各課等においてもデータ活用する。

**問** 消防団員出動手当の概要は。  
**答** 消防団員が火災、災害、警戒、捜索活動等に出勤した場合、新たに1人1回当たり1500円を分団に支給するものである。



## 請願・陳情の審査結果

受理番号	件名	提出者	付託委員会	結論
陳情第1号	川西赤十字病院の充実と存続を求める陳情書	佐久市望月2030-4 NPO法人未来工房もちづき 理事長 吉川 徹	社会文教建設 常任委員会	採択 全会一致
陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	佐久地区労働組合連合会 議長 小林 嘉孝	総務経済 常任委員会	採択 全会一致

※結論は、付託委員会のもの。本会議において全会一致で採択された。

※採択された陳情は、国等に対して意見書等を提出した。

各議員の賛否結果(賛否の分かれたもの ○賛成 ●反対) ※議長は表決に加わらない。

議案番号	議案名	今井	芝間	中島	中村	今井	森澤	今井	村田	田中	瀧澤	榎本	結果
		健児	教男	健男	茂弘	英昭	文王	清	桂子	三江	壽美雄	真弓	
議案第4号	佐久広域連合規約の変更について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	立科町介護保険条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	立科町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	令和3年度立科町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## 町民の暮らし応援 第3弾! 第2回臨時会

4月13日 令和3年度一般会計補正予算(第1号)より

コロナ禍の下、経済的に苦しさを増す町民の暮らしを応援する予算が決定したので、**主な事業**をお知らせします。

<p>☆子育て応援給付金</p> <p>0~18歳までの子ども、 一人当たり1万円。</p> <p><b>833万円</b></p>	<p>☆GOTO信州立科町・観光関連事業者応援事業</p> <p>「宿泊5千円+飲食・レジャー・土産物3千円分」のクーポン券。</p> <p><b>3,000万円</b></p>
<p>☆たてしな応援商品券配布事業</p> <p>町民一人につき5千円分。</p> <p><b>3,875万円</b></p>	<p>☆新型コロナウイルス感染症対策経営継続支援金</p> <p>コロナで影響を受けた業種*の1事業所に一律20万円支給、100件分。収入減少証明は無用。 *宿泊業、タクシーなど交通業者、レンタル業、娯楽業(無人テナント営業除く)、飲食業。</p> <p><b>2,000万円</b></p>
<p>☆キャッシュレス推進及び消費喚起応援事業</p> <p>町内登録店舗でお買い物をすると、ポイントが還元される。</p> <p><b>1,000万円</b></p>	

— 国の第3次補正予算を受け 総額約1億1,200万円 —

**問** 国土強靱化計画策定の概要は。

**答** 国土強靱化法に基づき、大規模自然災害等に備えるため、計画を策定し、国等から補助金を受けられるようにするものである。

**問** クラウド型一斉情報配信システムの概要は。

**答** 災害や緊急時の連絡手段として、新たに専用アプリを導入し、迅速かつ確実な情報伝達ネットワークを構築するものである。

**問** 地域防災計画修正にあたり、地域との連携は。

**答** 地域防災計画の修正策定の際、会議を開催するが、区長会・部落長の代表者に参加をお願いする。

**問** 自主防災組織整備事業補助金の概要は。

**答** 町が自主防災組織として認定する組織に補助金を交付するものである。現在、自主防災組

織は少ないが、組織が増えるよう働きかけや説明に努めていく。

### 企 画 課

**問** 立科町国際交流協議会負担金（ホストタウン事業）400万円増額の理由は。

**答** コロナ感染症対策で国のガイドラインにより、PCR検査やバス移動となり増加となった。

**問** 奨学金返還補助金の概要は。

**答** 町出身の大学生等の卒業生に、定住を条件として、年12万円を限度に補助するものである。

**問** 地域おこし協力隊の補助金の概要は。

**答** 2人の隊員が任期満了となる。定住し、起業する経費として、上限100万円を補助するものである。

**問** 公衆無線LAN整備事業の概要は。

不用品も出るが、ストロブ用薪等に活用できるようにする。

### 建設環境課

**問** ごみ減量化に対して予算計上されているが、全体的な計画（実施計画）が必要では。

**答** 検討していく。

**問** 事業者が使用できる生ごみ処理機が糞料エリアのみ計画されているが、里エリアの事業者に不公平になってしまう

**答** 災害情報を入力するため、指定避難場所や役場6か所に、インターネット環境を整備する。

**問** 高度無線環境整備推進事業の概要は。

**答** NTT東日本が事業主体で、町はVCSA ST設備の整備を支援し、町民の利便性を高めるものである。

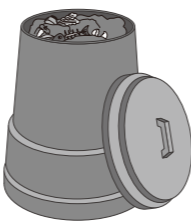
**問** ふるさと寄附金の地域課題解決事業支援の具体的内容は。

**答** ガバメントクラウドファンディングにより、地域に寄附金を補助金として交付するものである。



ウガンダ共和国の陸上選手

のでは。  
**答** 里エリアは畑等があるので、コンポストを活用してもらいたい。



**問** 地球温暖化対策実行計画及び気候変動適応計画策定事業とは。

**答** 立科町気候変動非常事態宣言に基づいて計画を策定する。

**問** 交通安全のためのグリーンベルト設置は、どのエリアを計画しているか。

**答** 野方区内の交通量が多い通学路を予定している。

**問** 空家対策事業とは。

**答** 空家等対策を推進する法令に基づき、空家の調査を行い、対策計画を策定する。

**問** 下水道会計が公営企業会計へ移行される

**問** 権現の湯ポンプ入替工事の概要は。

**答** 2年に1度の定期交換工事であり、源泉の安定供給のため、ポンプ入替工事を実施する。

### 町 民 課

**問** 障がい者スポーツ大会の負担金、7千円は少ないか。

**答** 全体予算は19万7千円で人口割3・3%の負担割合。各自自治体の職員がスタッフなので費用は掛からない。

**問** チャイルドシート購入費で32万2千円。1人2回の補助制度だが、年齢による制限をなくしたらどうか。

**答** たいま検討中である。

**問** 健康管理システム等の委託料とは。

**答** 標準的な特定検診などの健康データをマイナンバーで紐付ける作業を委託するものである。

**問** ブックスタートで約4万円が予算化されているが。

**答** 一人千円分の絵本を民生委員に届けてもらうものであり、35人分を予定している。

### 農 林 課

**問** サル対策について予算の中にどの様に盛り込まれているのか。

**答** 威力の強いエアーカーン2丁を購入。それでも対応出来なければ檻を設置し捕獲する対応をとりたい。

**問** 佐久食肉センター解体費の総額と負担割合は。

**答** 解体費全体では、約2億8500万円。人口割80%、均等割20%である。

**問** ワイン用ぶどう苗への補助率は2分の1。りんごへの補助率は3分の1で不公平でないのか。

**答** ワイン用ぶどう苗は、現在振興に重点を置

初年度になるが、概要は。キャッシュフローなどの指標が明確になり、会計がより分かりやすくなる。

**問** 水道会計の水道自動検針とは。

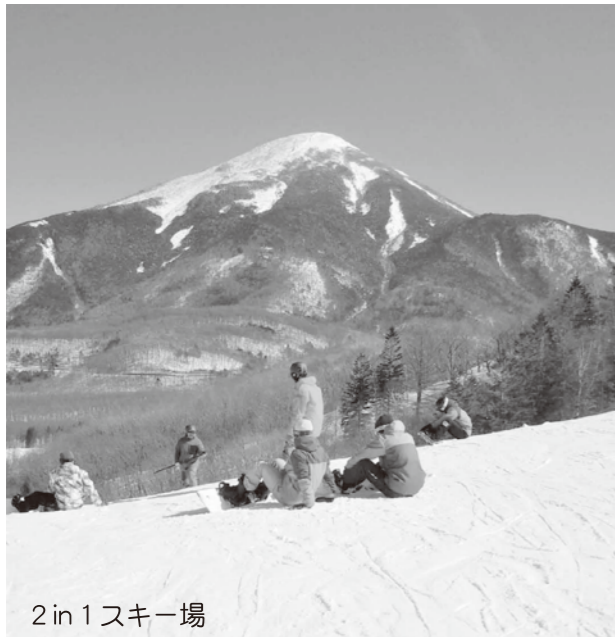
**答** 有線放送の老朽化に伴い、携帯電話の電波を用いた自動検針に移行していく。令和3年度の導入件数は105件を予定している。

### 観 光 課

**問** 三本松テニスコートの使用料については、歳入を何年も計上していないが、今後の方針をどう考えているのか。

**答** 三本松テニスコートについては、数年来歳入は計上していない。駐車場として一時使用の希望はあるが、観光施設条例上、テニスコートとしてしか使えない。今後、条例からの用途を外す方向で検討していきたい。

**問** クロスカントリーのコース使用料の計上



2in1スキー場

については。  
**答** 令和2年度は、コロナ禍で利用は少なかった。管理が大変難しい施設で、職員が努力して整備しているが、雨水による洗掘等は避けられない。また、利用者が整備をするなど使用料をもらいにくい状況でもあり、令和3年度も使用料を歳入として計上していない。

**問** 野外音楽堂の歳入を令和2年度の半分で計上している。積極的な利用を考えるべきと考えますが、実績と見込みは。

**答** 令和2年度の利用は、ほぼなかった。コロナ終息の見込みは全く立っていないと考えている。歳入計上においては、過剰な見積もりをしないというのが大原則であり、他の観光施設の歳入も余裕を持たせている。

### 教 育 委 員 会

**問** 教員住宅経費について、入居率が低いと思われるが更なる活用は考えているのか。

**答** 地域おこし協力隊員が使いたい等の要望があれば検討したい。

**問** 蓼科高校通学車輻運行補助金が少し上がっているがその理由は。

**答** 令和2年度から、蓼科高校の1学年定数が1クラス減の120人から80人となった。通学車輻運行便数は変わらないため、定期収入が減り、収支バランスを補うためである。

**問** 女性団体育成費について、公民館女性部は何団体あるのか。

**答** 令和2年度は9団体である。

**問** 女性団体育成費とあるが、年々女性部が減ってきていると思うが何かでこ入れは考えているか。

**答** 公民館女性部の活動に対して、講師等の手配も行っているので、活用していただきたい。

## 常任委員会合同研修会



# 立科町に活かせる移住政策

令和3年1月19日(火)、立科町役場大会議室において、総務経済常任委員会及び社会文教建設常任委員会の合同研修会を開催しました。

経営エッセイストの藻谷ゆかり氏を講師にお迎えし、「立科町に活かせる移住政策」をテーマに、

### 少子化問題、地方移住の促進、移住政策等

について、議員及び町職員が研修を受けました。

講演では、都会からの移住者を増やすためには、子育て、教育、住居、仕事等の環境整備が必要であるが、信州には、豊かな自然と受入れる人々の魅力があるとの紹介がありました。

立科町にもその魅力は十分にあるが、都会では、自動車を持たない人が多いので、鉄道の駅がなく、自動車が当たり前な立科町にとっては、大きなデメリットであり、「そこをどうするかが問われる」との指摘を受けました。

議会では、今回の研修を参考にし、更に移住政策等の学びを深めてまいります。



**講師**  
藻谷ゆかり氏 経営エッセイスト  
巴創業塾主宰

2002年に家族5人で長野県北御牧村(現東御市)に移住し、長野県行政機構審議会専門委員や東御市教育委員を務める。2016年から昭和女子大学グローバルビジネス学部客員教授、2018年同大学特命教授。2019年5月「衰退産業でも稼げます」を新潮社から、2020年9月「コロナ移住のすすめ」を毎日新聞出版から上梓。

## 総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・農林課・観光課・会計室・議会事務局  
委員長/今井清 副委員長/今井英昭  
委員/森本信明 田中三江 中村茂弘 中島健男

3月11日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

### 質疑 Q & A

- ◎立科町課等設置条例等の一部を改正する条例制定について  
Q 立科町課等設置条例においてどのような改正が行われるのか。  
A 農林課と観光課を統合し、産業振興課を設置する。  
Q どのような効果があるのか。  
A 農林も観光も産業という面で一定の相乗効果があり、活性化につながるかと考えている。
- ◎令和2年度立科町一般会計補正予算(第9号)について  
Q スキー場の指定管理者納付金750万円の内訳は。  
A 施設使用料が1千万円、敷地使用料が800万円であり、その12分の5の750万円を見込んで、年度途中で指定管理者制度へ移行



- したことによる。  
Q 基金管理経費の内容は。  
A 公共施設等整備基金へ1億円を積立てるものである。老朽化した施設の整備等のため、毎年度1億円を目安に積立てる計画である。  
Q ふるさと寄附金記念品代の減額の理由は。  
A ふるさと寄附金の歳入の減額、返礼品を求めない方がいることが主要因である。寄附者に対しては、お礼通知と税補助の通知を送付している。  
Q 産地パワーアップ事業の内容は。  
A 国・県の補助金を受け、JA佐久浅間マル横共選所に、りんごの透過型品質センサー等を整備する補助事業である。りんごの品質確認、労働時間短縮等が見込まれる。

## 社会文教建設常任委員会

所管 町民課・教育委員会・建設環境課  
委員長/森澤文王 副委員長/今井健児  
委員/榎本真弓 瀧澤壽美雄 村田桂子 芝間教男

3月10日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

### 質疑 Q & A

- ◎立科町介護保険条例の一部を改正する条例制定について  
Q コロナ禍の下、額の据え置きは検討したのか。  
A 保険料は今後3年間の見通しで算定。もし据え置くと次の改定に負担増になるため、特に新型コロナウイルス感染症による考慮は入っていない。
- ◎令和2年度立科町一般会計補正予算(第9号)について  
Q 社会福祉総務費の歩行器購入の理由と設置場所は。  
A 役場庁舎玄関に配置する。車いすはあるが歩行器も必要と思われる。  
Q 後期高齢者医療保険料の理由は新型コロナウイルス感染症が影響したためか。  
A 関連はない。保険料が見込みより少ないため。申請は1件あった。

- ◎令和2年度立科町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について  
Q 出産育児諸費の国民健康保険団体連合会補助金の増額は。  
A 出産育児一時金経費1人増で合計6人分である。
- ◎令和2年度立科町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について  
Q 繰越明許費の立科町浄化センター1号施設設計業務委託の内容は。  
A 耐震工事の設計業務委託を前倒したものである。
- ◎認定とならなかった。住宅費の住宅安全対策経費委託料の減額の理由は。  
A 耐震診断の経費が見込みより少なく済んだ実績による。  
Q 教育費全般の減額となった理由は。  
A ほとんどが実績によるものである。小・中学校費、有線電話料の減額は、インターネットを使用。条件は同じで仕様が変わり、減額となったものである。



30年間、手入れされない山  
雑木林である

**問** 森林環境税は令和6年から千円／年徴収されるが、森林環境譲与税は令和元年から交付されている。使途の公開が義務付けられているが公開したか。  
**農林課長** 令和2年11月広報とHPにて行った。

**結** 地球温暖化による異常気象で、過去に経験のない災害が、世界中で多発している。町も『気候非常事態宣言』をした。森林整備はその対策だ。

**問** 森林には、地球温暖化防止機能や災害防止・国土保全機能や水源涵養機能等があり、その重要性は高まっている。しかし、町内の山林は過疎化と高齢化で荒廃し、600ha、町土の8・8%にもなる。荒廃の対応や今後の長期ビジョンは。  
**町長** 今年度『立科町森林経営管理制度実施方針』を策定した。それに沿って推進する。

**問** 境界確認するとある山に、人が入れるのか。  
**農林課長** 大変難しい。航空写真や地籍図で確認していく。

**問** 森林環境税は令和6年から千円／年徴収されるが、森林環境譲与税は令和元年から交付されている。使途の公開が義務付けられているが公開したか。  
**農林課長** 令和2年11月広報とHPにて行った。

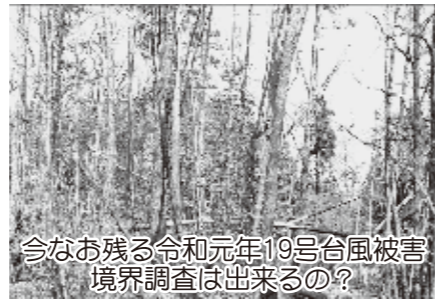
**問** 森林活性化のために実施計画の立案、実施、進捗管理、実績のまとめ、都市部との交流等様々な新たな業務が発生する。組織や人員の確保が、至急必要では。  
**副町長** 必要に応じて人員を確保していく。



中島 健男

問

これからの森林経営について



今なお残る令和元年19号台風被害  
境界調査は出来るのか？

**問** 譲与税は人口等で按分するので、都市部の交付金は多い。その人に森林の大切さを知ってもらい環境に関心をもってもらうことが重要だ。豊島区は既に秩父市と連携して『としまの森』として整備した。立科町も都市部との交流促進を、活発に行うべきでは。  
**町長** 豊島区に提案要請をけている。今後も続けていく。



中村 茂弘

問

旧保育園等跡地の現状について



旧若草保育園

**問** 西部の旧若草保育園跡地は、地元企業に売却すると聞いているが契約等はいつ頃か。  
**総務課長** 一定の条件をクリアしてから、議会に諮り売却する。

**問** 旧茂田井保育園跡地はどうなっているのか。  
**総務課長** 今までのままとなっている。

**問** 旧千草保育園跡地は、プレハブや車が多く駐車されているが売却予定があるのか。  
**総務課長** 現在貸し付けられているだけである。

**問** 旧三葉保育園跡地は、更地になっており、移住者が増えている。現在整地して、売却したらどうか。  
**総務課長** 創生会議に諮り、企画とも相談し結論を出したい。

**問** 最後に美上下の農地について貸し付けを、行っていると思うが、売却予定はあるのか。  
**総務課長** 現状のままである。

町政について問う！ 一般質問

一般質問の文章は質問者の責任で作成しています。

質問項目

今定例会では、議員7人が一般質問を行いました。

今井 清 議員 14ページ

①脱炭素社会実現への取り組みについて

中島 健男 議員 15ページ

①これからの森林経営について

中村 茂弘 議員 15ページ

①旧保育園等跡地の利用状況は

村田 桂子 議員 16ページ

①「蓼科牛」をどう守るか。  
②コロナ禍における様々な対策について  
③教育行政

今井 健児 議員 16ページ

①子育て支援策のさらなる充実について  
②自治体専用アプリ「タテシナブリ」を導入されてはどうか。  
③防犯灯（街灯）について

田中 三江 議員 17ページ

①立科町男女共同参画長期プランについて

今井 英昭 議員 17ページ

①行政運営について



※太字の質問を掲載。議事録は議会ホームページで閲覧できます。

問

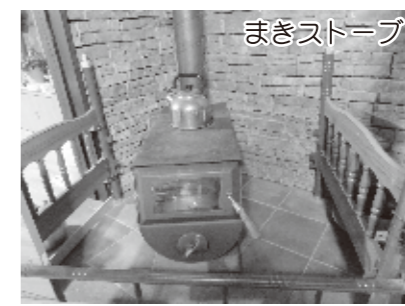
脱炭素社会  
実現への取り組みについて



今井 清

**問** 国が推進する脱炭素社会実現に向けて立科町の取り組みは。  
**町長** 立科町では、昨年6月に「立科町気候非常事態宣言」を表明し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ（ゼロカーボン）を目指し、取り組みを進めている。

**問** 間伐廃材をまきに利用し、里山の整備をするべきでは。  
**農林課長** 間伐廃材をまきストーブ利用者に提供し、森林整備につなげる仕組みを検討したい。



まきストーブ

**問** 避難所となる公共施設すべてに太陽光発電設備と蓄電設備を導入すべきでは。  
**総務課長** 役場庁舎と白樺高原総合観光センターには導入済み。避難所には、非常用発電機を備えているが、今後、自宅等における蓄電設備も必要になると考えている。

**問** 立科町で化石燃料（灯油やガソリン）購入に支払った金額を1世帯年間10万円と試算すると2億8千万円にもなる。せつかく稼いだお金を外に出さない仕組みづくりが必要なのは。  
**町長** 再生可能エネルギーで地域資源を最大限活用する必要がある。町民皆様のご理解・ご協力を頂きながらできるところから進めていきたい。

**問** 導入費用が安い太陽熱温水器を町の補助金対象にするべきでは。  
**町長** 町の補助金対象に太陽光発電システム設置がある。太陽熱温水器は補助金対象としていないが、今後必要があれば調査研究したい。





「蓼科牛」をどう守るのか



村田 桂子

牛」を佐久地域のブランドとして守ってほしいと訴えた。

町長 3月末での佐久屠場閉鎖が決定的となっている。昨年6月末の広域連合正副連合長会議で初めて「継続困難、新たな経営体の譲渡がなければ3月末で閉鎖」議題となったときに、町長は同意された。「生産者に相談してから」となぜ、即決を避けなかったか。また2月末の最終の意思確認の折、なぜ「屠場廃止」に反対しなかったのか。首長には町の利益を代表して拒否権があると考えるが。

町長 広域連合で運搬費の増加分については補償するよう確認した。処理料増についてはJANAなどの調整になる。

町長 JANAなどが経営改善計画を示したのに「赤字が出た時の負担割合」の新たなハードルが出された。その時に町長が「これで1年間やってみよう」と強く主張すべきではなかったか。

町長 3月末で予算化されるがその金額など詳細は今詰めている。

町長 JAらの参加する食肉公社では「赤字が出た時の負担はできない」「継続は困難」となった。公社も公募期間を延ばすなど配慮もあった。広域連合の自治体の中で温度差がある。他の事務との兼ね合いがあるので主張し続けるのは難しい。

町長 6月末の会議では「譲渡先を探る」との方向が示されたので賛同した。最終の意思確認の折も「信州蓼科牛」を守ってほしいとの意見は申し上げた。2月末でも「信州蓼科

町長 蓼科牛を残すには農家が生産し販売会社が引き続き引き受けることが大前提。運搬費や処理代があげれば、コスト増で農家の負担は重くなる。負担軽減策は。

処理施設	距離	時間
松本	43 km	1時間20分
中野	73 km	1時間
栃木	218 km	3時間
佐久	21.5km	30分

子育て支援策のさらなる充実について



今井 健児

学3年生)をしてはどうか。

自治体アプリ「タテシナプリ」について

町長 厚木市の行っている子育て日常生活支援事業を当町にもと、提案するがいかかか。

町長 自治体アプリ「タテシナプリ」を導入されてはどうか。

町長 親の面と子どもの面、これらを出来ればこれからある意味立科町の目玉としてその事を今検討している。

町長 安全確保の観点から見て規則性や基準が見えてこないが現状の見解は。

防犯灯について

町長 チャイルドシート購入補助金の見直しをすべきでは。

町長 区や部落のご理解のもと、必要な場所に設置されていると認識している。

町長 立科温泉「権現の湯」の子ども(中学生も含む)料金の撤廃をしてはどうか。

町長 通学路において基準はあるのか。点検は行っているのか。

町長 インフルエンザワクチン助成(1歳〜中

町長 調査すべきでは。あらためて町として調査をしていく中で、地元ともタイアップして一緒に進めていくことがよいかと思う。

立科町男女共同参画長期プランについて



田中 三江

町長 第4次男女共同参画長期プランの重点は、教育次長 過去の災害時に於いて、避難所運営などにおける女性への配慮に課題があったことから、新たに防災分野に関する施策を追加。

町長 自然災害・防災会議に女性委員の登用は。総務課長 昨年の防災会議23名中女性1名、今年度は2名に。地域において自主防災組織の結成や運営体制整備の際には女性の視点を反映、女性リーダー的な配置などの取り組みも求めていく。

町長 国は指導的地位に占める女性の割合を30%程度になる施策が盛り込まれた。立科町の取り組み、具体策、施策は。

町長 今後女性登用の促進を広報活動などで促していく。

町長 役場管理職の女性の比率30%、係長33%と進めてきたが委員会等の組織は女性の登用が思うように進んでいないのが実情。第4次プランでは積極的な男女共同参画に取り組めるよう役員を選出方法や先進的取り組み事例、男性の理解と協力、女性の積極的な参画の意識啓発を推進することを盛り込む。

町長 平成26年と31年に行った町民意識調査の分析、見解は。教育次長 政策決定に参画したいと考える女性が増え、男女共同で社会を創造していくとの意識を誰ももてるよう意識改革していく事だが簡単にはいかない、粘り強く進めていく。「女性側の積極性が十分でない」の意見が多く、男性は「もっと女性に役割を担ってほしい」と考える人が増えたが、女性性は性別役割分担の意識がまだまだ強い。

世界を変えるための17の目標  
5つ目がジェンダー平等

行政運営に関して



今井 英昭

町長 行政運営に関して、任期前半2年間の成果と後半2年間の課題は。

水道自動検針システム

町長 職員の優秀な人材の確保と育成が最も重要と捉えている。コミュニケーションシジョン不足が課題で、組織力の強化・持続可能な体制づくりを整えたい。また、専門分野の人材確保を図りたい。

町長 ムが未導入箇所において、水道メーター交換に合わせて新たなシステム導入が必要ではないか。

町長 建設環境課長 令和3年度において、有線放送の線を使用し検針している箇所から自動検針を導入していく。

町長 申請書・通知等のデジタル化を推進するため、各通知(水道料金のお知らせ・児童手当支払通知書等)をWeb明細にできないか。建設環境課長 必要に応じて検討していく。

町長 行政運営のアウトソーシングの一つである指定管理の評価について、索道事業や女神湖センターも追加されることから、モニタリングマニュアルの見直し・研修が必要ではないか。

町長 現状は考えていないが、参考にして今後、検討していきたい。

町長 文章取扱規定の改正予定から2年経過して

町長 現状は。改定作業を進めている。事務処理の量が多いが、早急に改正をしたい。

町長 水道自動検針システム

町長 有線放送の線に繋がっている水道自動検針

町長 補助金によって行政運営の一端を担っていると考え「がんばる地域応援事業」について、交付率など更に改善

町長 有線放送の線に繋がっている水道自動検針

## 議会の動き (主なもの)



令和3年

- 1/19 総務経済・  
社会文教建設常任委員会合同研修会
- 1/27 議会運営委員会
- 2/1 佐久市・北佐久郡環境施設組合第1回定例会
- 2/3 川西赤十字病院運営協議会
- 2/4 北佐久郡老人福祉施設組合議会運営委員会
- 2/8 国際交流推進協議会
- 2/9 第7回新型コロナウイルス感染症対策会議  
定例全員協議会  
第1回臨時会

- 2/10 川西保健衛生施設組合第1回定例会
- 2/17 議会運営委員会  
全員協議会
- 2/22 北佐久郡老人福祉施設組合定例会
- 2/25 佐久広域連合議会運営委員会
- 3/3~18  
第1回定例会
- 3/26 白樺湖下水道組合定例会
- 3/29 佐久広域連合第1回定例会
- 4/13 第8回新型コロナウイルス感染症対策会議  
第2回臨時会  
定例全員協議会
- 4/20 第3回臨時会



尾崎稻荷神社(野方)

今年はずっと暖かい日が続く、桜の開花も入学式にはほぼ満開。本来なら、桜の下にゴザでもしいて、仲間と楽しく花見としゃれこみたいところですが、残念ながら、新型コロナウイルスがまさに猛威を振るっており、マスク着用、飲食なしの静かな花見となりました。

人間界はコロナで右往左往していますが、自然はそれぞれ咲く時節(とき)を知り、旅立ちの時を祝福してくれているようです。

立科町内も花盛り。お花見名所があちこちに。ぽかぽか陽気に誘われて桜巡りも楽しいもの。自然の移ろいは、巣ごもりで運動不足になりがちで心と体を心地よくほぐしてくれます。自然のエネルギーを体に満たして、明日への元気を養いませんか。

## 議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行/長野県立科町議会 編集/議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)88-8413(直通) 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <http://www.town.tateshina.nagano.jp>

## 編集後記

娘は「かわいい」と褒められ、「私?」と切り返したという。

わかっていたことではあります。可愛い猫の刺繍のマスクのことでした。「すばらしい」と褒められたとき、『議会だより』も中身であって、決して表紙の写真だけでなく、より充実したいものです。

今後も広報の中身を充実させ、見やすく楽しく読んでもらえる議会だよりを目指して、編集委員会は引き続き努力してゆきたいと思えます。

芝間 教男



○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

議会だより編集委員会

園村田 桂子 園芝間 教男

森澤 文王 今井 英昭

中村 茂弘 中島 健男

今井 健児